

静岡まつりについて

～ 静岡まつりの由来 ～

静岡まつりは、「ここ駿府で徳川家康公が家臣を連れて花見をした」という故事に倣い、昭和32年（1957年）からはじまった市民のおまつりです。

『大御所花見行列』をメインに、桜の花咲く頃のおまつりとして市民に親しまれています。第40回からは「市民が参加する」まつりとなり、城下総踊りの『夜桜乱舞』や駿府城を目指す『駿府登城行列』の他、駿府城内は江戸姿の商人や町人が行き交う時代絵巻さながらのまつりとなっています。昨年からは青葉会場も登場し、様々な催しが毎年4月の第1土・日を中心に繰り広げられています。

主な催し

☆大御所が「花見に行こう」と呼びかける【前夜まつり】

☆大御所の呼びかけに応じて駿府城をめざす【駿府登城行列】

☆大御所とともに花見に出かける【大御所花見行列】

☆花見の宴を盛上げる【城下総踊り夜桜乱舞・城下桜踊り】

そのほか、

城下あげてのおまつり会場【青葉会場】と

駿府城内のおまつり会場【駿府城会場】にて

ステージをはじめとするさまざまな催しが企画されています。

今年の開催概要

令和7年4月4日（金）～4月6日（日）

来場実績

第65回	令和3年4月2日（金）～4月4日（日）	約29万人（コロナウイルスによる縮小開催）
第66回	令和4年4月1日（金）～4月3日（日）	約58万人（コロナウイルスによる縮小開催）
第67回	令和5年3月31日（金）～4月2日（日）	約93万人
第68回	令和6年4月5日（金）～4月7日（日）	約96万人